

編集後記

博士課程在籍中は核融合加熱 (NBI) 関係の研究をしておりましたが、ここ6年ほどは粒子加速器分野の仕事をしていました。有難いことに今でも研究上の関わりがあり、そのご縁で2020年から編集委員の仕事に拝命したところです。核融合研究の最前線にいない自分に編集委員を務まるか懸念はあったのですが、前任のY先生に相談に乗っていただいたり、事務局の北澤さんにも多々サポートいただいて、何とか任期あと半年までやってきられました。編集委員として従事する中で、多様な研究テーマを目にする機会も増えたのですが、それよりも、学生の頃から何気なく手に取っていたプラ核学会誌の企画立案や審議、校正作業のなど、1つの記事ができあがるまでに多くのプロセスが関わっていることを勉強できました。改めて編集委員会の皆様には感謝申し上げます。

この編集後記を書いている1月半ば、新型コロナウイルスのオミクロン株が急速に広まっている最中です。以前は編集委員会は対面方式で行われていたとかがっていますが、コロナ禍になってから、編集会議はすべてオンライン

になりました。また、この2年間で私の所属するJ-PARCでも、すっかりオンライン会議が定着してしまいました。特に所外の方との打合わせは、ほぼ100% Web会議になってしまいましたが、長いこと続くと慣れるもので、遠くの研究所や大学の先生方とも、本務の合間にface to faceで議論ができるようになったり、頻繁に打ち合わせが入るようになったり、人との距離感も変わったような気がします。

また、研究所の施設公開もオンラインになりました。例年は所内にお客さんをお呼びしてスタッフがツアーを行うのですが、この2年はYouTubeライブとニコニコ生放送でのオンライン公開でした。中高生向けを中心とした企画ですが、(今でも)ニコ生の視聴者数が圧倒的に多いことは驚きでした。また、自身の研究の紹介動画も製作させていただいたり、良い経験ができました。コロナ禍自体は悲しいことですが、生活様式や仕事の仕方が変わったことは悲観せず、良い面もあると楽観的に受け入れつつある今日この頃です。(柴田崇統)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長：竹入康彦
副 会 長：安藤 晃 (推薦委員長：学会賞，研究部会連絡会委員長) 米田仁紀 (推薦委員長：研究助成，男女共同参画委員長)
常務理事：市口勝治 (総務委員長)
理 事：荒巻光利 (編集委員長) 出射 浩 大勢持光一 (財務委員長) 金子俊郎 (企画委員長)
木戸修一 兒玉了祐 小西哲之 白藤 立
花田鷹砂也 林 伸彦 (広報委員長) 藤田隆明 横峯健彦
渡邊隆行 (企業展示検討委員長，支部・地区研究連絡委員長) 和田 元 (年会運営委員長)
監 事：前田達志，立松芳典

プラズマ・核融合学会 領域長

プラズマ基礎 荒巻光利(日大) プラズマ応用 渡邊隆行(九大) 核融合プラズマ 藤田隆明(名大) プラズマ炉工学 小西哲之(京大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：荒巻光利(日大) 副委員長：出射 浩(九大)
エディタ：古閑一憲(九大)，比村治彦(京都工繊大)，波多野雄治(富山大)，重森啓介(阪大)，藤田隆明(名大)，村上定義(京大)
編集委員：安倍勇輝(阪大)，諫山翔伍(九大)，板垣宏知(産総研)，井戸 毅(九大)，上野一磨(中京大)，占部継一郎(京大)，枝尾祐希(量研)，呉 準席(大阪市大)，大谷芳明(量研)，加藤雄人(東北大)，河村学思(核融合研)，小林政弘(核融合研)，近藤康太郎(量研)，佐久間一行(弓削商船高専)，佐藤直木(東大)，柴田崇統(高エネ研)，鈴木陽香(名大)，辻井直人(東大)，中村浩隆(阪大)，畑 昌育(量研)，藤原 大(NTT)，前山伸也(名大)，水口直紀(核融合研)，向井啓祐(京大)，本村大成(産総研)，森高外征雄(核融合研)，矢嶋美幸(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛て送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第98巻第3号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2022年(令和4年)3月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: http://www.jspfor.jp/ 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。